

- 平成29年に法人化。カーネーションを年間約72万本生産するほか、加工品製造や体験農園なども実施。
- コロナ禍を転機に、新たな地域の產品として唐辛子生産を開始。

基本情報

- 所在地：佐賀県唐津市
- 選定表彰：
 - ・佐賀県花き園芸共進会 農林水産大臣賞 (H27)
 - ・佐賀農業賞 九州農政局長賞 (H26)
 - ・全国青年農業者会議 経営局長賞 (H19)
- 主力商品・イベント：
 - ・カーネーション、唐辛子の加工品
 - ・唐津花の大学
 - ・航空会社とコラボしたギフト商品
 - ・唐津ピリカラ協会発足イベント
- 活用した支援施策：
 - ・さがアグリヒーローズ
(さが農村イノベーション推進事業)
 - ・さが農村ビジネス支援事業

取組の概要

- 花のオーナー制度「唐津花の大学」を開設し、県内外から受講生（オーナー）が参加。
- カーネーションを活用した加工生花、フラワーボックス等の販売、体験農園等を展開。
- 新たに唐辛子の生産を開始し、加工品を開発・販売。県内の唐辛子生産農家、飲食店等を会員とした「唐津ピリカラ協会」を発足し、新たな產品として定着を目指す。
- 花き、唐辛子の生産・出荷調整作業の一部を福祉事業所と連携。
- 『協業』をキーワードに、契約栽培の推進、農地や雇用の課題解決への取組を進める。



唐辛子加工品



唐津ピリカラ協会



唐津花の大学

体制図

唐津ピリカラ協会

株式会社
クラベル・ジャパン

カーネーション部門 唐辛子部門

連携
連携
連携
福祉事業所 飲食店 県内農家株式会社
テツシン
デザイン連携
支援佐賀県
(さがアグリ
ヒーローズ)

取組の成果

- カーネーション：フラワーボックス等ギフト商品 10種類
- 「唐津花の大学」受講生 のべ53組 (R1~3)
- 福祉事業所との作業連携（雇用創出） のべ12事業所180名
- 「唐津ピリカラ協会」による地域活性化（生産者と飲食店との連携）

ウェブサイト▶<https://clavel-japan.jp/>

- 平成12年に農業交流拠点施設「おおむら夢ファームシュシユ」を開業。農産加工品の製造・販売（6次化）のほか、食育体験や収穫体験など豊富なメニューで取組を展開。

基本情報

- 所在地：長崎県大村市
- 選定表彰：
 - ・令和3年度農林水産祭「天皇杯」多角経営部門
 - ・令和2年度6次産業化優良事例表彰 農林水産大臣賞
 - ・「ディスカバー農山漁村の宝」第6回選定（R1）
 - ・平成19年度全国地産地象活動優良表彰（交流促進部門）農林水産大臣賞
- 主力商品・イベント：ジェラート等、食育・農林漁業体験
- 活用した支援施策：
 - ・農業構造改善事業（施設立ち上げ時）

取組の概要

- 農業テーマパーク構想の実現のため、一年中観光客が訪れる交流拠点「おおむら夢ファームシュシユ」を開業。
- 地元農産物（生鮮品）のほか、6次化による商品開発でジェラート、プリンなど多数商品化し販売。レストランではランチバイキングやレストランウェディングなどを提供。
- 大村市グリーン・ツーリズム推進協議会と連携した観光・体験農業を展開。
- 大村市のふるさと納税の返礼品として、農産物の詰め合わせや加工品等を出品。



おおむら夢ファームシュシユ

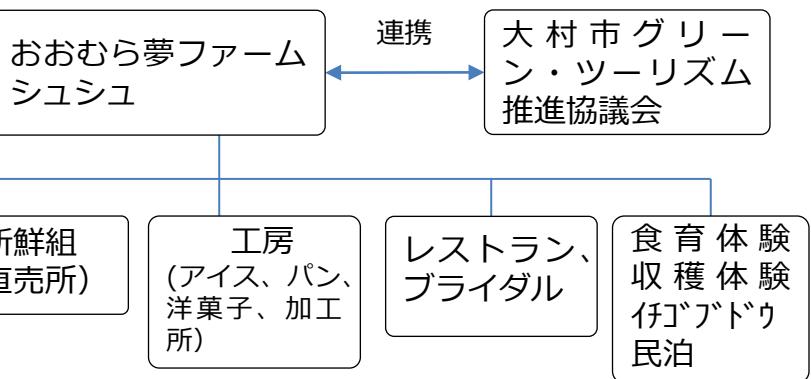


地元産の農産物を使用したジェラート



農産物を使用したオリジナル加工品

体制図



取組の成果

- 6次化による売上高：3.2億円（H26）⇒ 3.9億円（H30）
- 年間集客数：約49万人（H30）
- 食育・農業体験者数：約3万人（H30）
- 従業員：年間100名以上（季節雇用含む）
- 常時雇用職員の女性割合：8割

ウェブサイト▶ <http://chouchou.co.jp/>

- 「すべての人々の生活に健康と美容と癒しを届ける」という理念の下、提携農家とともに宮古島の環境に適したアロエベラを栽培し、加工品の開発・製造を行う。自社農園ではヤギに雑草を食べさせ粪をたい肥にして畑に戻す循環型農業を実現するとともに、ヤギと触れ合える観光牧場や、アロエ商品を中心とした土産店やカフェも展開。

基本情報

- 所在地：沖縄県宮古島市
- 選定表彰：
 - ・ 6次産業化アワード食料産業局長賞 (R1)
 - ・ 第7回「ディスカバー農山漁村の宝」 (R2)
 - ・ 地産地消等優良活動表彰大臣官房長賞 (R3)
- 主力商品・イベント：
 - ・ アロエ及びアロエ加工品
 - ・ 蜂蜜
 - ・ ヤギのいる観光農園
 - ・ オンライン体験
(アロエの食べ方・育て方教室)
- 活用した支援施策：
 - ・ 沖縄県離島デジタル広報・販売スキル向上事業
 - ・ 沖縄県農林水產物流通条件不利性解消事業

取組の概要

- ヤギを活用したアロエベラの有機栽培とともに、加工品（ジュース、美容ドリンク等）を開発・製造。アロエベラは通年収穫可能なため、雇用創出にも貢献。
- 2020年には牧場に隣接した場所にアロエベラと地元産マンゴー等のフルーツを使ったジュースやスイーツの提供、加工品等の販売を行うカフェをオープン。
- 地域の農家が農産物を販売できるよう直売所を開設し、地元の学校給食での提供や地産地消の推進や農家の所得向上にも貢献。



ヤギとアロエベラ

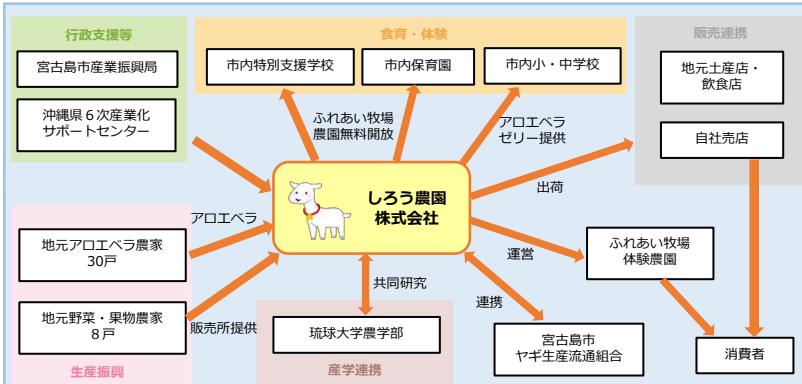


ふれあい牧場に併設するカフェ



しろう農園の従業員

体制図



取組の成果

- 直売所開設により売上が年間100万円増
- アロエ取扱額が10年間で8倍
- 従業員15人中10人が地元出身
- アロエ栽培面積が約15ha（国内最大規模）
- ヤギ30頭以上の観光農園により集客

ウェブサイト▶ <http://shirou-nouen.net/> ▶ <https://www.goatcafe.jp/>